

【研究・実践研究・実践報告】

いずれかを選択し  
不要なものを削除

## 実践研究・実践報告の書き方

—サブテーマ—  
(1行アケル)

研究 下蔵\*・実践 下代\*\*

Shitazo KENKYU, Shitayo JISSEN

(1行アケル)

Key words : キーワード : 3～5のキーワードを設定

(1行アケル)

15ポイント

12ポイント。必要に応じて記入。  
不要の場合、削除して上にツメル

12ポイント

10ポイント。大文字と小文字に注意

10ポイント

小見出しは MS ゴシック  
10ポイント  
本文は MS 明朝  
10ポイント

### 書式について

原稿は未発表のものに限る（ただし、口頭発表等はこれの限りではない）。原稿は A4版 で作成し、Word ファイル および PDF ファイル を電子媒体で提出する。また、図表・写真を挿入する場合は、元データも提出する。

本文は、和文、英文ともに 10ポイント とする。フォントは、小見出しは MS ゴシック、和文本文は MS 明朝、英文本文は Century とする。英数字は半角で記載する。その他の文字は原則として全角とする。句読点は「。」と「，」を用いる。

原稿は 2段組 とし、文字数 25 字、行数 40 行、左右の余白は 17 mm、上下の余白は 25 mm、本文は両端揃えに設定してある。また、原稿の長さは、上記書式で 2 ページ以内（図表を含む）とする。

著者名にアスタリスク（\*）を付し、所属を記載する。著者 2 人目以降はアスタリスクの数を増やし、以下同様とする。和文、英文ともに 8ポイントとする。

脚注は使用しないこととする。必要な内容は、本文中に（ ）を用いて直接挿入する。

上記で指定した書式は厳守すること。「発表論文集テンプレート（MS-Word）」は指定書式に従い作成されているため、設定を変更せずにテンプレートを活用して記入すれば、基本的に書式が崩れることはないと思われる。

### 図表について

図表は本文に直接挿入する。原稿提出時に、元データも併せて提出すること。写真等は原則として白黒写真とする。カラー印刷は行わない。また、図表は鮮明にスキ

ヤンできるものとし、グレーの塗り潰しや細かな斜線、網目などは使わないこと。

### 原稿作成時の留意点

提出原稿は完全原稿とする。完全原稿とは、提出した原稿に加筆・修正をせず、直接印刷、出版できる状態の原稿を指す。著者による再校は行わないため、編集委員会で指定した書式は厳守すること。軽微な修正は、編集委員会で行う。

編集委員会では審査のみを行い、指定した書式が守られていない場合は掲載を許可しない。

その場合には差し戻しとなる。再提出については、印刷が間に合わなくなる可能性があるため、期日を厳守すること。

### 原稿提出内容

- ①発表責任者の氏名・所属・職名・メール・電話
- ②発表タイトル
- ③添付：原稿のWord ファイルとPDF、図表・写真

### 原稿送付先

原稿提出フォーム

→<https://forms.gle/GxxqCLM6r1Z1NgFR7>

### 書式は基本的にいじらないこと

日本語 8ポイント、英語 8ポイント。なお、脚注は用いず、本文に（ ）を利用して直接挿入。

著者紹介が1行で済む場合は、テキストボックスの行幅を一行分細くすると、本文が一行多く入る。

\*著者の名前にアスタリスク（\*）を付したうえ、所属を記載する。2人目は\*\*、3人目は\*\*\*を付し、所属を記載。